

令和4年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号:20-2

担当部局・担当課名:地方創生局 観光振興室 観光戦略課

事業名	産業観光魅力創出事業	評価結果	一部改善
-----	------------	------	------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・観光客数について、補助を受けてる以上、報告を義務づけたほうがいい。
- ・パンフレット作成など、少額補助がかなりある。本当に効果のあるものに絞る意味では、1件の事業規模の補助金額を少し上に上げる。
- ・トイレを整備する、パンフレットを作るだけで客は来ないので、集客する工夫とセットでないと、いくら整備しても来ないのでは。
- ・QRコードを貼るなどアンケートに教えてくださいと必ずお願いするとか、まとめて情報提供もしくは情報収集ができる仕組みの全体的なデザインをする必要がある。
- ・BtoB企業というのは、例えば学生たちにとって将来設計など非常に大きな役割があるため、もっと若い人にも産業観光を通じてBtoB企業に行ってもらいたい。

【県民評価者の意見】

- ・富山県の観光ナビを見ると湾岸サイクリングとかをすごくPRされているが、産業観光をもっとPRしてもいいのではないか。
- ・補助を新規先についてアピールをしていくことが重要。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数	17
---------	----

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (補助金をやめる)	役割分担 見直し (市町村又は国がやる)	抜本的改善 (目的の考え方を見直しをしたほうがいい)	一部改善 (フォローアップをしっかりやったほうがいい)	現行どおり ・拡充 (現行どおり手上げ方式でやる又は予算を増やす)
	1	0	7	8	1
県民評価者の主な評価シートコメント	【一部改善】 <ul style="list-style-type: none"> ・集客が先に来ないと本末転倒の事業となる。集客対策とセットで計画させるべき。 ・効果測定の方法について考えるべき。 ・失敗事例を捕捉しているのか。人数把握ができていない。 ・PR用パンフレット(富山産業観光用)を各県に配布。PRが弱い。 ・成果があるのか不明な件が多いように感じる(トイレの改修等)。 ・事業実施後の成果のフィードバックや、補助事業が効果的なものとなるようアドバイスが必要。 ・産業観光コースのネットワーク作り、産業観光ツアーが組めればよい。 ・来場者のアンケートは必要。 				
	【抜本的改善】 <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろ事業をやっているようだがPR不足。富山県がPRしてもよいと思う。 ・アンケート調査してさらなる改善につなげていけばよいのでは。 ・県外観光客数の把握は必要である。補助金で支援するのであれば、企業規模に応じたもので。 【現行どおり・拡充】 <ul style="list-style-type: none"> ・社員の満足度向上、小中学生の学びの機会や集客による賑わい創出、地域経済のうるおいにつながる。 【行政の関与不要】 <ul style="list-style-type: none"> ・「大人の社会科見学」ではなく、子供の将来に向けた社会科見学でよい。 				

事業名	産業観光魅力創出事業	評価結果	一部改善
------------	------------	-------------	------

【参考】委員による評価				委員総数	4
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (補助金をやめる)	役割分担 見直し (市町村又は国がやる)	抜本的改善 (目的の考え方を見直しをしたほうがいい)	一部改善 (フォローアップをしっかりやったほうがいい)	現行どおり ・拡充 (現行どおり手上げ方式でやる又は予算を増やす)
	0	0	1	3	0
委員の 主な コメント 評価 シート	<p>【一部改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数の把握、情報のとりまとめが必要。 ・CSRではなく、売れたり、採用が増えたり、実利がある形態に整えていく必要がある。 ・エリアに配っていく(パンフレットを集めて見れるようにする)。 ・他の事業との連携も視野に入れる。 ・産業観光の役割は大きく、なかなか見ることのできない企業の状況を見ることができる点で魅力的。 ・現状では、本当に高い付加価値のある取り組みになっているか、PRは十分かといった問題がある。 <p>【抜本的改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少額補助のみで観光客が増えるわけではない。誘致のための営業活動の支援が有効ではないか。 ・効果の把握(観光客増加の有無)は何かしら行うべき。 				

県の対応

対応方針	一部改善	事業内容見直し			
	<p>○産業観光に関する人数等の情報をとりまとめるため、新たに補助申請前の産業観光実績を把握(補助金申請書様式の変更)</p> <p>○事業実施後のフィードバックや補助事業が効果的なものとなるようアドバイスを実施するため、補助対象施設での県と補助対象者との意見交換(事業完了後の翌年度1回)を制度化</p> <p>○関係団体と連携したPR強化</p>				
R5当初予算での対応	R5当初予算(案)	5,000(千円)	R4当初予算	5,000(千円)	増減額なし
	増減理由	-			

事業名	産業観光魅力創出事業	評価結果	一部改善
------------	------------	-------------	------

当初予算編成プロセスの見える化

令和5年度当初予算	要求状況	要求額	5,000(千円)	前年度予算額	5,000(千円)	
		事業の目的	県内の企業が行う産業観光の取組みを推進するため、企業の受入態勢の整備を支援。			
		事業内容	観光集客の効果が見込まれる事業のうち、以下の取組みについて、経費の一部を助成 ・産業観光案内用備品・案内コース等整備 ①備品購入費 補助率1/2 上限250千円 ②施設整備費 補助率1/2 上限500千円 ・産業観光付帯施設整備 ③産業観光受入に伴う企業紹介施設等の整備費(製造設備は除く。) 補助率1/3 上限2,000千円			
		積算内訳	①1,000千円 ②2,000千円 ③2,000千円			
	予算編成過程における議論	レビューにおける意見を踏まえ、補助金申請様式の変更や、補助対象者との意見交換の制度化など、適切に実施方法の見直しが行われている。				
	最終的な予算案	予算額	5,000(千円)	/		
要求時点からの変更点		変更なし				